施工説明書

TOTO

トイレリフト

EWC151型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

🚫	🚫は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

禁　止

床に腐食や、ガタツキがある場合は取り付けない
便器が床から外れて水漏れの原因になります。また、商品が破損したり、転倒してけがをする原因になります。

屋外や、浴室などの水のかかる場所に取り付けない
火災や感電の原因になります。また、さび、変形、変色などにより商品の機能を損ない、けがをする原因になります。

公園トイレなど管理の行き届かない場所へは設置しない
商品の異常に気づかず、商品の破損や脱落により転倒し、けがをする原因になります。

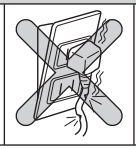
指定する電源（交流100V 50Hz・60Hz）以外では使用しない
火災の原因になります。

電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。傷んだまま使用すると、感電、ショートし火災の原因になります。

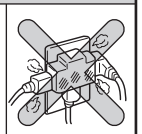
⚠ 警　告

禁　止

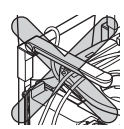
ガタついているコンセントは使わない
火災や感電の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



ウォシュレットの給水ホースや電源コードはトイレリフト本体に巻き付けたり引っ掛けたりしない
便座の動きによって給水ホースや電源コード・プラグが傷み、水漏れ、火災、感電の原因になります。



取り付け可能な TOTO 製の便座以外は設置しない
しっかりと固定できずにガタツキが発生し転倒してけがをする原因になります。

前方ボード（EWC720／740型）との組み合わせはしない
昇降中に身体を挟まれて、けがをする原因になります。

分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない
火災や感電の原因になります。また、商品の破損や脱落により転倒し、けがをする原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因になります。

必ず実行

電源プラグを抜く時は、必ずプラグ本体を持って引き抜く
コードを引っ張るとプラグやコードが傷み、水漏れ、火災、感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
火災や感電の原因になります。

ウォシュレットなどの便座を取り付けた際は、トイレリフトを昇降させ、便座の給水ホースや電源コードに無理な力がかかっていないことを確認する
便座の動きによって、給水ホースやプラグが傷み、水漏れ、火災、感電の原因になります。

⚠ 警　告

必ず実行

昇降高さ切替の際は、トイレリフトに近づかない
手や腕など身体の一部が挟まれ、けがをする原因になります。

取付床の下地は木床の場合、12mm厚以上の構造用合板(JAS規格品)、コンクリート床の場合、圧縮強度210kgf/cm²以上のコンクリート床を使用する
商品が外れてけがをする原因になります。

付属の本体取付木ねじでしっかりと床に固定する
商品が外れてけがをする原因になります。

ボルト・ねじ・ナットは推奨の締め付けトルクでしっかりと商品を組み立てる
商品が外れてけがをする原因になります。

取り付け完了後、商品にガタツキがないことを確認する
商品にガタツキがあると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをする原因になります。

昇降経路や昇降高さの切替作業は、必ず施工業者の方が間違えないよう行う
作業を間違えたり不十分だと、座面が傾くなど意図しない動きをして、転倒してけがをする原因になります。

斜め昇降に切り替える場合は必ずご使用者様にご確認のうえ、切り替える
ひざに不安のある方の場合、ひざに力が入らずに転倒してけがをする原因になります。

壁や紙巻器などの器具とのすき間は「50mm」以上あける
すき間が狭いと、トイレリフトを昇降させたりアームレストをはね上げたときに手などが挟まれてけがをする原因になります。

車いすからの移乗や便座に座ったあとに身体の向きを変えるなど、過剰な横荷重が便座に加わる場合、外れ防止のため金属のベースプレートに仕様変更した専用便座を使用する
便座が外れて転倒し、けがをする原因になります。

ウォシュレットを取り付ける場合は、ベースプレートにカチッと音がするまでウォシュレットを奥まで差し込む
便座が外れて転倒し、けがをする原因になります。

車いす対応便器にセットする場合は、アームレストの設定高さを「高」に設定する
トイレリフト昇降時、ウォシュレットがアームレスト本体に接近またはぶつかり、手などが挟まれてけがをしたり商品が破損したりする原因になります。

組み立て完了後、必ず試運転を行い、点検項目に従い点検実施する
商品が外れたり座面が傾くなど意図しない動きをして、転倒してけがをする原因になります。

普通便座のキャップは必ず取り付ける
ねじがゆるんだ際、ねじが抜け落ち便座が外れてけがをする原因になります。

⚠ 注　意

禁　止

操作部が座面の横についているウォシュレットは、斜め昇降経路を選択した場合、高さ設定モードを「高モード」にしない
ウォシュレットの操作部がアームレストにぶつかり、商品が破損する原因になります。

掃除道具などホースの上や近くに置いたりしない
トイレリフト昇降時にホースの動きが抑制され、ホースが破損し水漏れの原因になります。

ウォシュレットの給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない
水が漏れて室内浸水の原因になります。

給水ホースを巻いたり、駆動装置の下に入り込ませたりしない
便座の動きによって給水ホースが傷み、破損して水漏れの原因になります。

トイレリフトや便座を固定していない状態で、便座に座ってトイレリフトを使用しない
商品が不安定になり、転倒してけがをする原因になります。

必ず実行

取り付ける前に、固定位置の床下に給水管や床暖房のヒーター線などがないことを確認する
給水管に穴をあけ、水漏れする原因や感電、故障の原因になります。

ウォシュレットの給水ホースを引き抜く前に、必ず止水栓を閉める
水が漏れて室内侵入の原因になります。

ウォシュレットを取り外す際は、給水ホース内の残水を洗面器などで受ける
水が漏れて室内侵入の原因になります。

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業する
けがをする原因になります。

便器と昇降プレートの左右、および昇降プレート開口部先端と便器開口部先端を必ず揃える
昇降プレートの位置が悪いと昇降途中で水はねガードと便器が干渉して破損の原因になります。

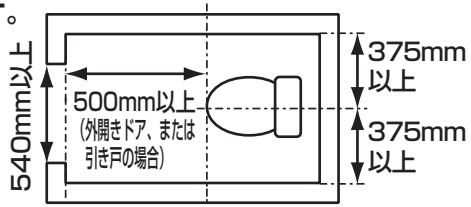
水はねガードを必ず使用する
すき間に指を挟みけがの原因になります。ウォシュレットが正常に作動しなかったり、小水が便器の外に漏れ、床の汚れやサビの原因になります。

コンクリート下地に取り付ける場合は、指定の樹脂プラグを使用すること
商品が外れてけがをする原因になります。

2 取り付け前の注意

トイレリフトを取り付けるトイレを確認してください

搬入に必要なトイレ間口は540mm以上です。



■トイレ内の設置条件について

トイレ幅は便器中心より壁面までの距離を375mm以上、便器前端から前側のドアまたは壁までの距離を500mm以上確保してください。紙巻器などの器具とトイレリフトのすき間は「50mm」以上あけてください。すき間が狭いと、便座昇降時やアームレストをはね上げたときに手などを挟んでけがをする原因になります。

※すき間が50mm以上確保できない場合は、紙巻器などの器具をトイレリフト（便座やアームレスト部）の可動範囲からずらして設置しなおしてください。

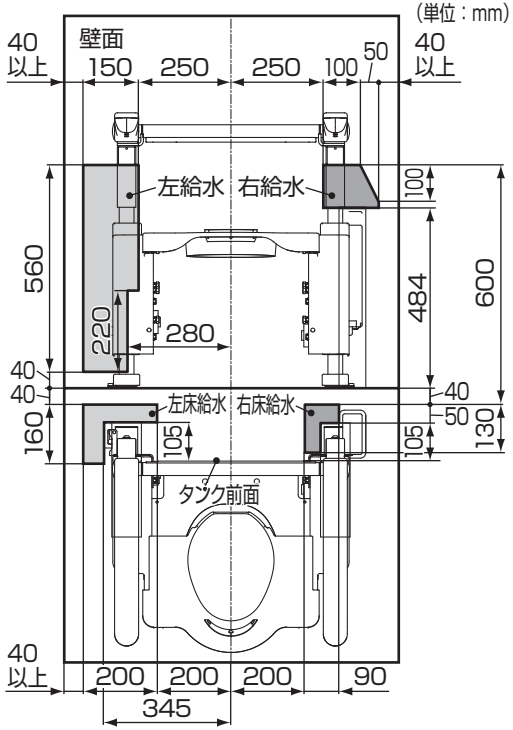
■便座について

取付可能なTOTO製の便座以外はセットしないでください。トイレリフトをご使用になる際は、必ず便ふたがない便座をご使用ください。車いすからの移乗や便座に座ったあとに身体の向きを変えるなど、**過剰な横荷重が便座に加わる場合、外れ防止のため金属のベースプレートに仕様変更した専用便座を使用してください。**

不明な場合は弊社へ必ずご確認ください。

〈トイレリフトが利用可能な給水取り出し範囲〉

（単位：mm）



■給水取り出し位置について

給水の取り出し位置が右図のトイレリフトが利用可能な給水取り出し範囲の中にあるか確認してください。

■給水ホースについて

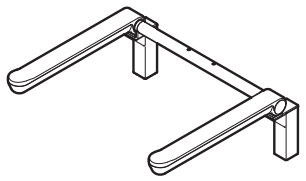
給水の取り出し位置によっては給水ホースの長さが不足する場合があります。不足する場合はウォシュレットの説明書を参考に適切な長さのホースをご購入ください。また、右給水の場合は2mのホースをご購入ください。

TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターへご連絡ください。

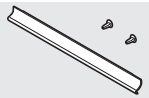
TEL 0120−8282−55
FAX 0120−8272−99

3-1 部品の確認

□アームレストフレーム

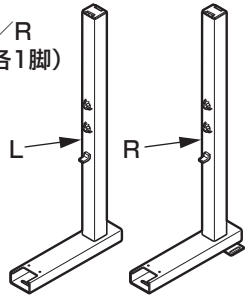


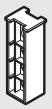
□アームレスト本体（1個）



□コードカバー（1セット）
※樹脂クリップ（2個）でアームレスト本体に止めてあります。

□脚
L／R
（各1脚）





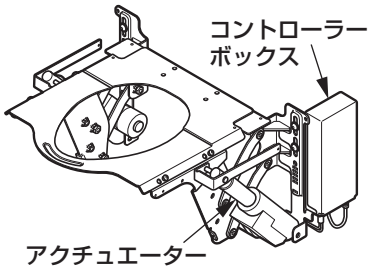
□ホルダー
（2個）
※脚の上部にはめてあります

□固定板
（2枚）
※ホルダーにはめてあります

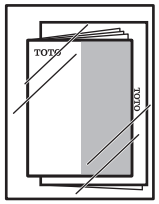
□六角穴付きボルト
(M10×20)(4本)
※脚の上部に固定しています。

□平座金(φ10)
（4枚）
※脚の上部に固定しています。

□昇降ユニット



□袋

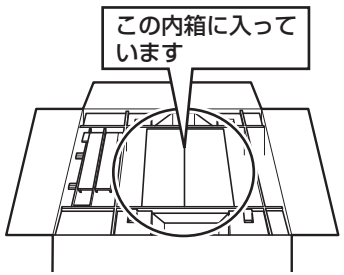


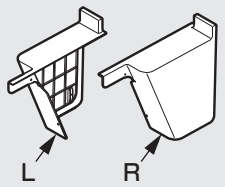
1セット

□施工説明書
（本説明書）
（1部）

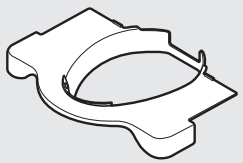
□取扱説明書
（保証書付き）
（1部）

□カバー類





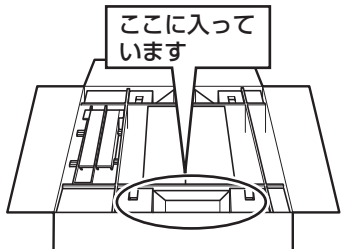
□本体カバー
（L／R各1個）

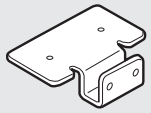


□水はねガード（1個）

3-2

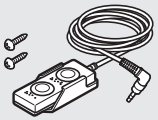
□ねじ、リモコン類




□リモコンプレート
（1個）

□ねじ（リモコンホルダー
固定用）（2本）

□ねじ（リモコンプレート
固定用）（2本）


□リモコンスイッチ（1個）
□リモコンホルダー（1個）
□木ねじ（φ4×20）（2本）

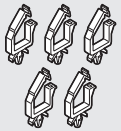
□六角穴付きボルト
（M10×30）（4本）

□平座金（φ10）（4枚）

□脚カバー
（2個）

□ねじ
（コントローラー
ボックス固定用）
（φ5×16）（1本）

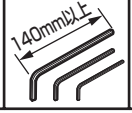
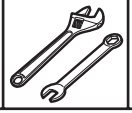
□ねじ
（便座固定用）
（M6×20）
（2本）


□ホース・コード
クランプ
（5個）

□木ねじ
（φ5×40）（8本）

□樹脂クリップ
（4個）

〈必要工具など〉

工具名称	電動ドライバー	プラスドライバー（2番）	六角棒レンチ（6mm、5mm、3mm）	モンキーレンチまたはスパナ（17mm）	ドリル（φ3）下穴用	メジャー	テープ類（養生テープなど）
工具イラスト							

コンクリート下地に取り付ける場合

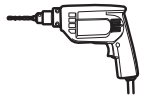
コンクリート下地に取り付ける場合は、以下の部品と工具が別途必要になります。

＜必要部品＞

樹脂プラグ(EW 59019)
1セット

（入り数：8本）

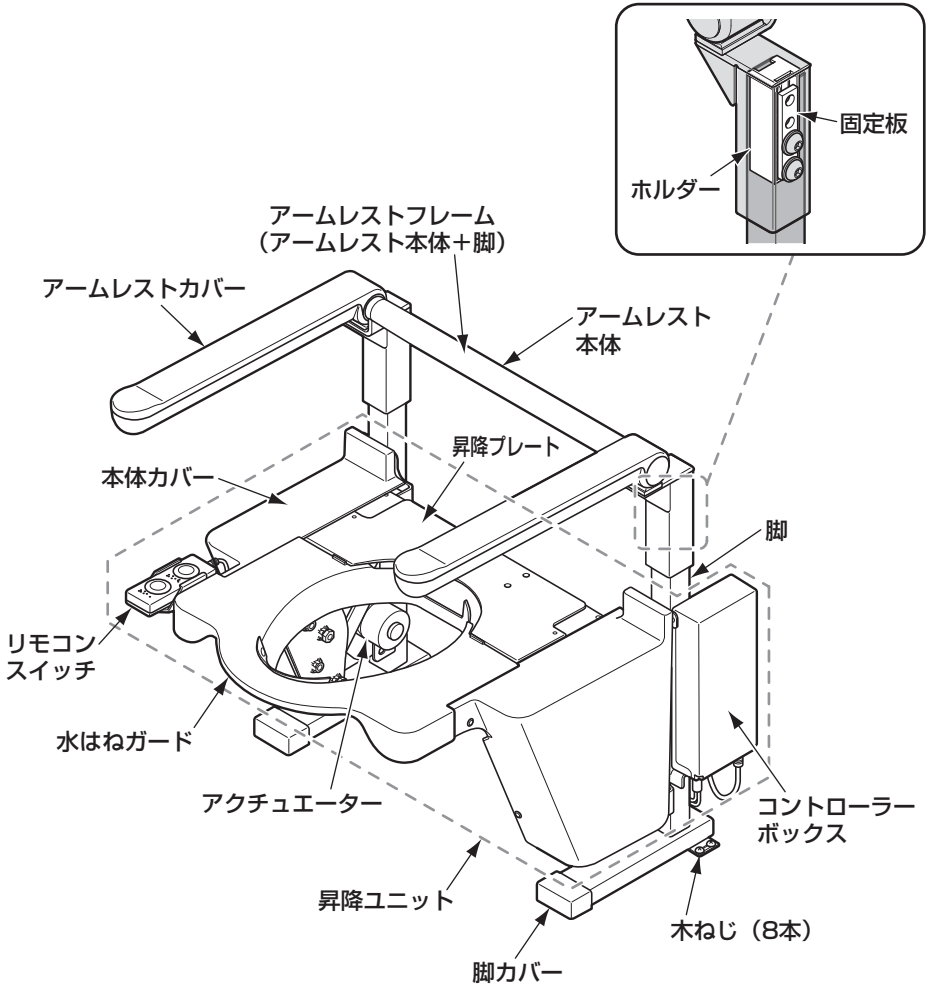
＜必要工具＞

振動ドリル	ドリル（φ8）
	

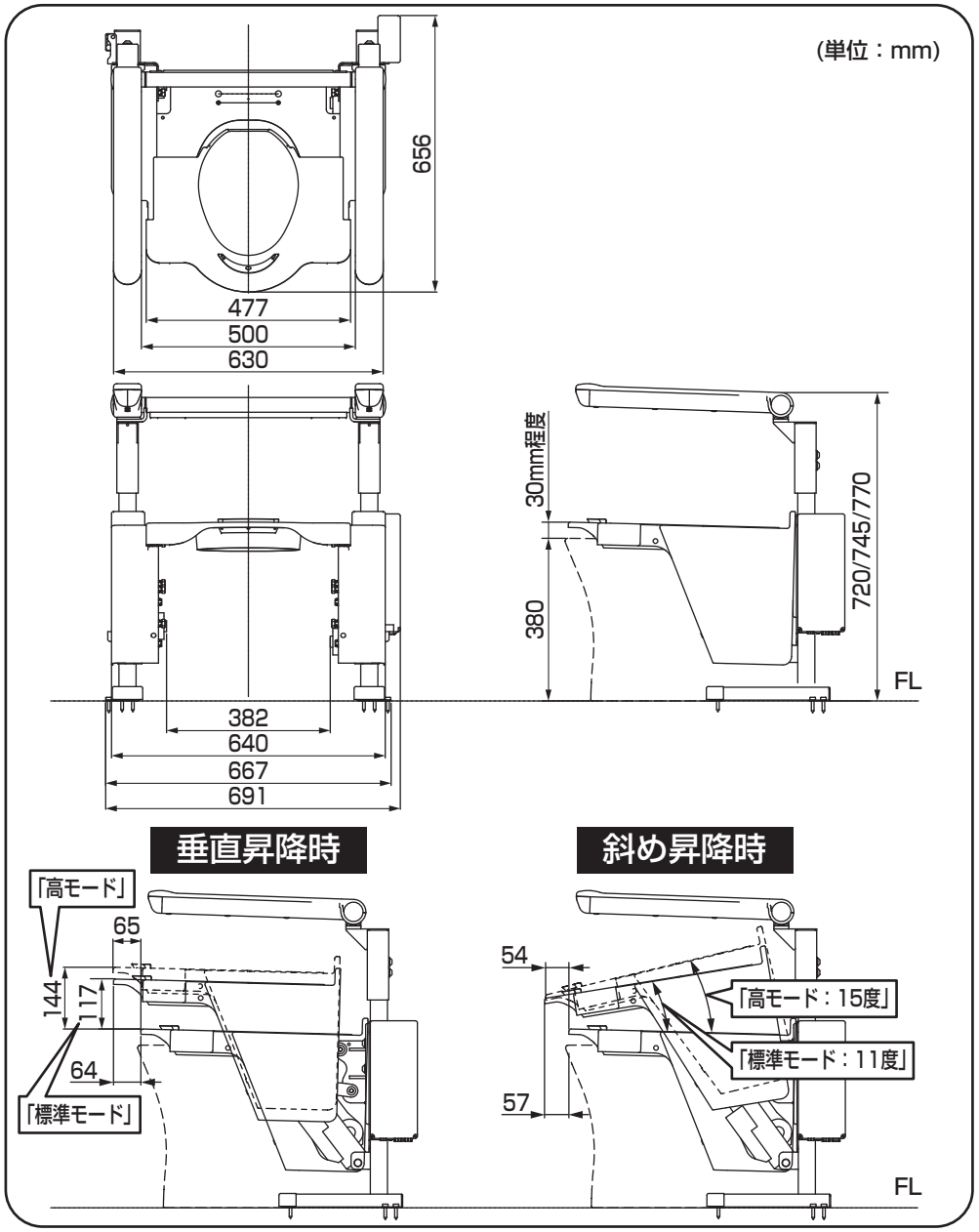
便ふたスペーサー（既設の便座を使用する場合）

トイレリフトにセットする便座は「便ふたなし」となります。既設の便座を使用する場合は便ふたを取り外し、便ふたスペーサーを取り付ける必要があります。便座によって形状が異なります。

4 各部のなまえ



5 完成図



6 施工手順

この施工手順に従ってアームレストフレーム・昇降ユニットを正しく取り付けてください。

【アームレストフレームの取り付け】

1. アームレストフレームの組み立て
2. 既存便座の取り外し
3. アームレストフレームの設置位置の調整
4. けがき、下穴
5. 床への仮固定

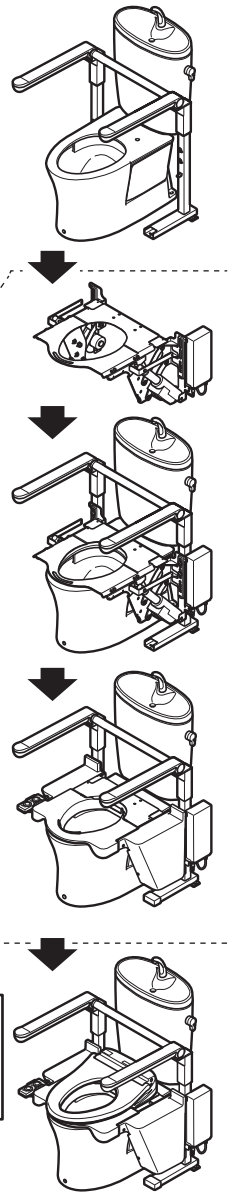
【昇降ユニットの取り付け】

6. 昇降ユニットにコントローラーボックスの取り付け
7. 昇降ユニットをアームレストフレームに取り付け
8. 昇降プレートの左右確認
9. 昇降プレートの前後確認
10. 床への固定
11. 結束バンドの取り外し
12. 昇降プレート水平の確認
13. ボルトキャップと便器の干渉の確認
14. リモコンスイッチおよびケーブル類の取り付け
15. カバーの取り付け

16. 便座・水はねガードの取り付け
17. 【調整】昇降経路の切り替え（垂直➡斜め）
18. 【調整】昇降高さ（標準モード➡高モード）の切り替え

（17・18：必要に応じて）

19. 試運転
20. 点検項目

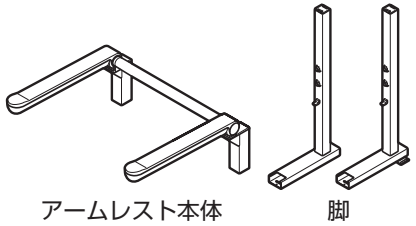


7-1 アームレストフレームの取り付け

1 アームレストフレームの組み立て

取り付け後のイメージ

準備する部品



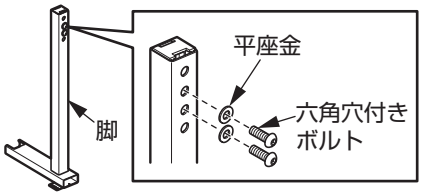
①脚の上部に固定している六角穴付きボルト・平座金(左右各2カ所)を取り外します。

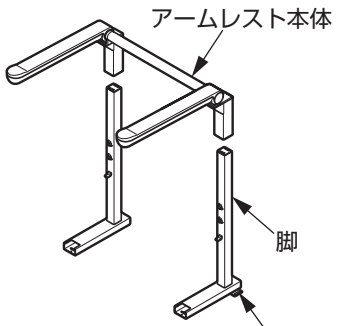
②脚を下記の方向に並べる。
・手前側が長くなる向き
・左右外側に固定プレートが出る向き

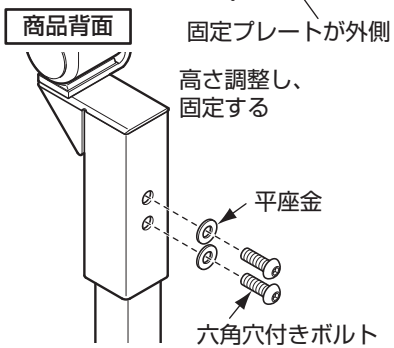
③「アームレスト本体」を「脚」に差し込みます。

④右頁表の通り便器の高さにあわせてアームレストの高さを調整し、商品背面の「アームレスト本体」と「脚」のねじ穴をあわせて付属の平座金・六角穴付きボルトでしっかりと固定します。
（推奨締付トルク20N・m）

＜締め付けの目安＞
六角棒レンチの短い方を持って回し、ボルトが突き当たったところより、六角棒レンチの長い方に持ち替えてさらに1/4回転程度締めこんでください。



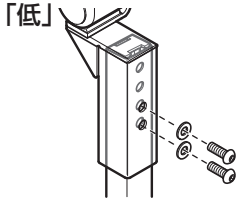
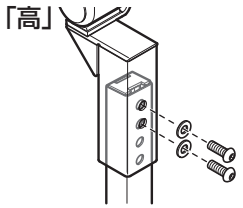




⚠ 警 告

必ず実行

ボルト・ねじ・ナットは推奨の締め付けトルクでしっかりと商品を組み立てる
商品が外れてけがをする原因になります。

便器高さ	設定高さ
340～390	「低」 
車いす対応便器 417	「高」 

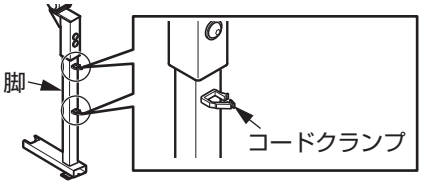
ご使用者のご意向にあわせて高い位置にも調整可能です。

⚠ 警 告

必ず実行

車いす対応便器にセットする場合は、アームレストの設定高さを「高」に設定する
トイレリフト昇降時、ウォシュレットがアームレスト本体に接近またはぶつかり、手などが挟まれてけがをしたり商品が破損したりする原因になります。

⑤脚背面にコードクランプ(左右各2カ所)を取り付けます。



2 既存便座の取り外し

既存便座の取付説明書などを参考に既存便座を取り外してください。再度、取り外した商品を利用することがある場合は、外した部品を紛失しないように大切に保管しておいてください。

⚠ 注 意

必ず実行

ウォシュレットの給水ホースを引き抜く前に、必ず止水栓を締める
水が漏れて室内浸水の原因になります。

ウォシュレットを取り外す際は、給水ホース内の残水を洗面器などで受ける
水が漏れて室内浸水の原因になります。

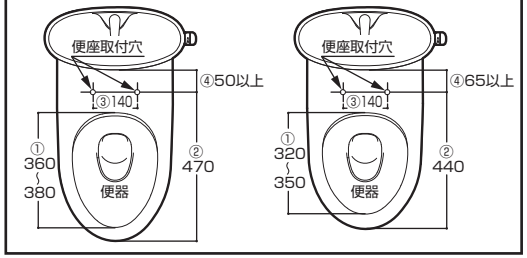
必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業する
けがをする原因になります。

3 アームレストフレームの設置位置の調整 重要

※位置決めのため、テープなどを貼ってください。

ご使用便器サイズの確認

エロングゲートサイズ（大形サイズ）レギュラーサイズ（普通サイズ）

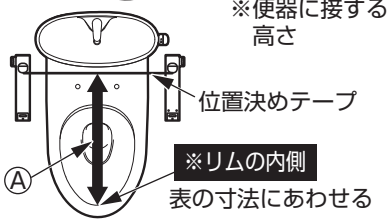


次の手順で設置位置を調整します。

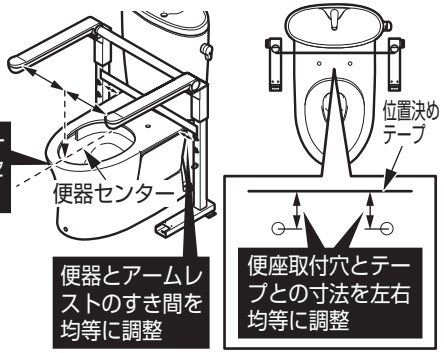
①前後方向の調整
ご使用の便器サイズにあわせて脚フレーム前面と便器リム内側との距離Ⓐが **次の寸法になるよう位置決めしてください。**

便器サイズ	設定寸法Ⓐ
エロンゲート（大形）	490
レギュラー（普通）	485※

※485が確保できない場合は470に位置決めしてください。



②左右方向の調整
便器の中央とアームレストの中央をあわせてください。



※壁基準ではなく便器基準で位置合わせしてください。昇降プレートの左右ズレにつながります。

位置が決まったら、位置決めテープは取り外してください。

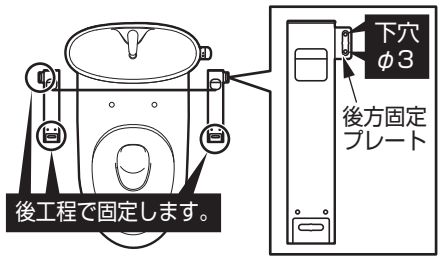
4 けがき、下穴

設置位置が確定したら、ねじの位置をけがきます。

木下地：木ねじ固定の場合

床固定部の「後方のプレート」と「パイプの前方」にある **4カ所の長穴に2本ずつ計8本** の木ねじで固定します。

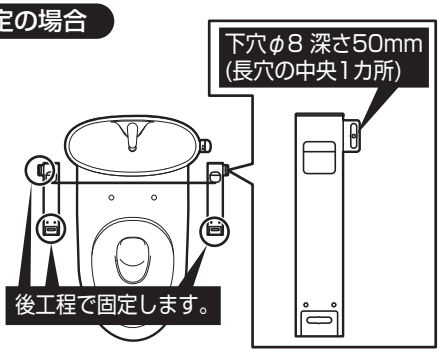
①向かって右側「後方の固定プレート」長穴の両端を目安にけがきます。
②けがいた位置に下穴をあけます。
木ねじ固定の場合……下穴径：φ3mm



コンクリート下地：木ねじ＋樹脂プラグ固定の場合

商品に同梱の木ねじ4本と樹脂プラグ（別売品EW59019）で固定します。
（商品に同梱の木ねじ、およびEW59019に同梱の樹脂プラグは8本ですがそのうち4本を使います。）

①向かって右側「脚フレーム」長穴の両端を目安にけがきます。
②けがいた位置に下穴をあけます。
樹脂プラグの場合……下穴径：φ8mm
深さ：50mm

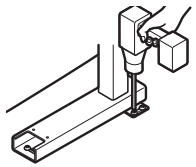


⚠ 注 意

必ず実行 **取り付ける前に、固定位置の床下に給水管や床暖房のヒーター線などがないことを確認する**
給水管に穴をあけ、水漏れする原因になります。

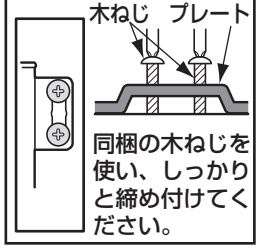
5 床への仮固定

脚を床にしっかりと固定します。



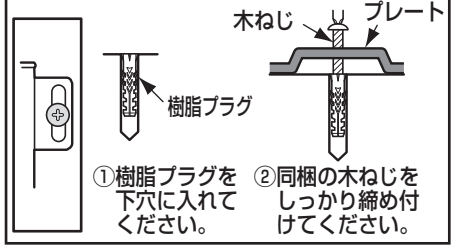
※イラストは木下地の場合です。

木ねじ固定の場合



同梱の木ねじを使い、しっかりと締め付けてください。

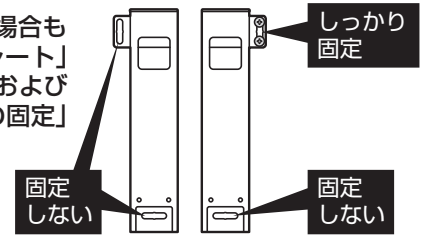
樹脂プラグ固定の場合



①樹脂プラグを下穴に入れてください。
②同梱の木ねじをしっかり締め付けてください。

ポイント

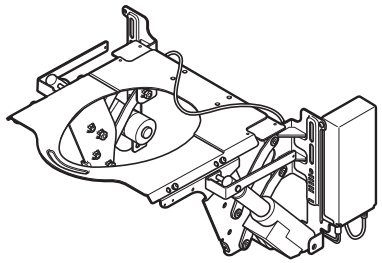
8-2 **3**「昇降プレートの左右確認」が必要な場合もありますので、向かって右側「後方のプレート」のみ固定し、左側「後方の固定プレート」および左右「パイプ前方」のねじは 8-2 **5**「床への固定」で行います。



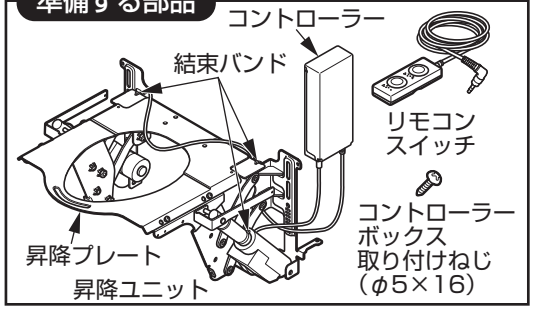
8-1 昇降ユニットの取り付け

1 昇降ユニットにコントローラーボックスの取り付け

取り付け後のイメージ



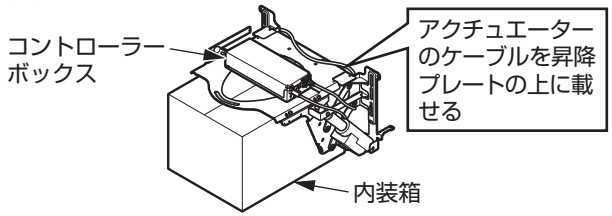
準備する部品



①昇降ユニットを内装箱の上に仮置きします。
（結束バンドはつけたまま）

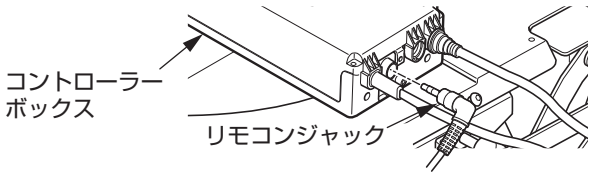
注 意
コントローラーボックスを落下させないこと。

❶内装箱の上に仮置きする

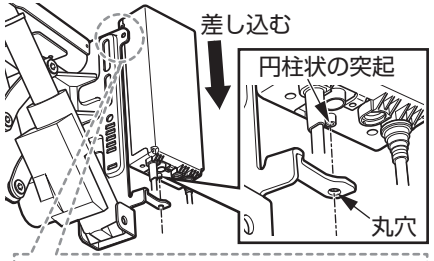


②コントローラーボックスにリモコンのジャックを差し込みます。

❷リモコンのジャック差込位置を確認する



❸円柱状の突起を丸穴に差し込む



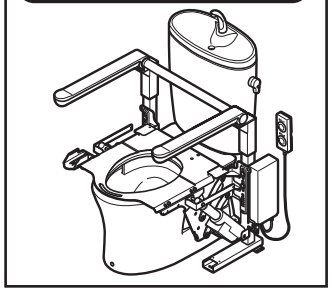
③昇降ユニット後方にコントローラーボックスを載せます。
このとき、コントローラーボックスの円柱状の突起をフレーム後方の丸穴にあわせて差し込みます。
コード類を挟まないように注意してください。

④商品に同梱のねじ（φ5×16）で固定します。

❹ねじで固定する

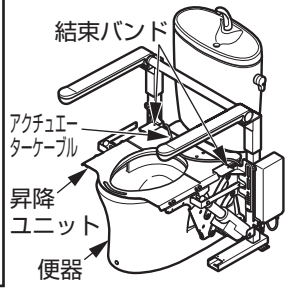
2 昇降ユニットをアームレストフレームに取り付け

取り付け後のイメージ



準備する部品

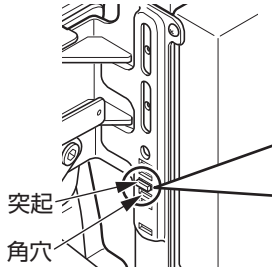
❶便器の上に仮置きする



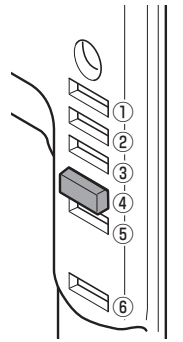
①昇降ユニットを便器の上に仮置きします。
（結束バンドはつけたまま）

②昇降ユニット後方の角穴をアームレストフレームの突起部に差し込みます。
※左右同じ高さの穴に差し込んでください。

❷角穴に突起を差し込む

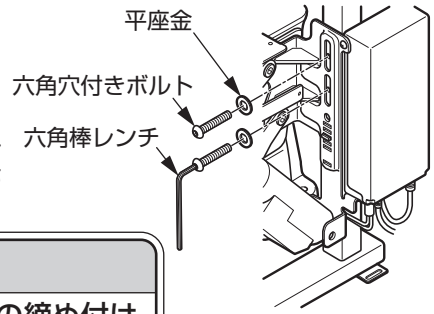


【差込位置の目安】



便器高さ（単位：mm）	差込位置
約350	①
約360	②
約370	③
約380	④
約390	⑤
約417 車いす対応便器	⑥

③付属の平座金・六角穴付きボルトでしっかりと固定します。
(推奨締付トルク20N・m)



＜締め付けの目安＞
六角棒レンチの短い方を持って回し、ボルトが突き当たったところより、六角棒レンチの長い方に持ち替えてさらに1/2回転程度締めこんでください。

⚠ 警 告

必ず実行
ボルト・ねじ・ナットは推奨の締め付けトルクでしっかりと商品を組み立てる
商品が外れてけがをする原因になります。

3 昇降プレートの左右確認

上から見て、便器と昇降プレートの左右方向の中心があっていることを確認します。

⚠ 注 意

必ず実行

便器と昇降プレートの左右、および昇降プレート開口部先端と便器開口部先端を必ず揃える

昇降プレートの位置が悪いと昇降途中で水はねガードと便器が干渉して破損の原因になります。

4 昇降プレートの前後確認

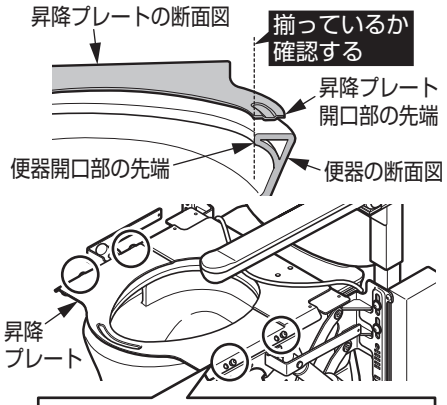
①上から見て、便器開口部の先端と、昇降プレート開口部の先端が揃っていることを確認します。

※レギュラーサイズの便器の場合、P7の 7-2 -3 で設定寸法が485の場合は長穴分後方にずらしてください。また、設定寸法470の場合は昇降プレート4カ所を固定しているねじを外して、丸穴に付け直してください。

②ずれている場合は、昇降プレート4カ所を固定しているねじをゆるめ前後に調整のうえ、しっかりとねじを締めつけます。(推奨締め付けトルク10N・m)

＜締め付けの目安＞

六角棒レンチの短い方を持って回し、ねじが突き当たったところより、さらに1/3回転程度締めこんでください。



⚠ 注 意

必ず実行

ボルト・ねじ・ナットで推奨の締め付けトルクでしっかりと商品を組み立てる

商品が外れてけがをする原因になります。

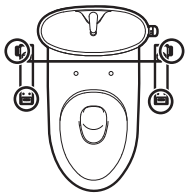
5 床への固定

調整が終わったら、所定の本数の木ねじで脚を床にしっかりと固定します。

木下地：木ねじ固定の場合

床固定部の「後方のプレート」と「パイプの前方」にある **4カ所の長穴に2本ずつ計8本** の木ねじで固定します。

木ねじ固定の場合……下穴径：φ3mm



木ねじ固定の場合(8カ所)

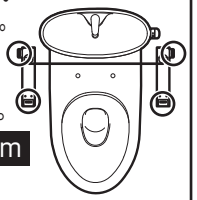
コンクリート下地：木ねじ+樹脂プラグ固定の場合

①「後方のプレート」および「パイプの前方」にあいている長穴の中央部(径の大きい部分)にけがきます。

②けがいた位置に下穴をあけます。
下穴をあけられるよう、商品を一旦取り外してじゃまにならない場所に移動してください。

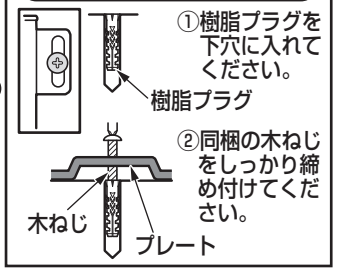
樹脂プラグの場合……下穴径：φ8mm

深さ：50mm



③再度、同梱の木ねじ4本と樹脂プラグで固定します。

樹脂プラグ固定の場合(4カ所)



⚠ 警 告

必ず実行

付属の本体取付木ねじでしっかりと床に固定する

商品が外れてけがをする原因になります。

取付床の下地は木床の場合、12mm厚以上の構造用合板(JAS規格品)、コンクリート床の場合、圧縮強度210kgf/cm²以上のコンクリート床を使用する

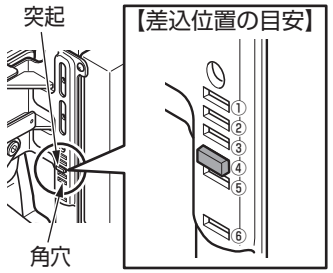
商品が外れてけがをする原因になります。

6 結束バンドの取り外し

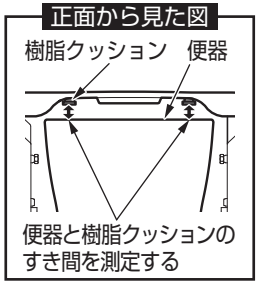
結束バンドをはさみなどで切って取り外します。(2カ所)
アクチュエーターの結束バンドは切らない。

7 昇降プレート水平の確認

電源プラグをコンセントに差して、トイレリフトを昇降させ、便器に着地直前で停止させ、便器と脚の間のすき間を測定し、すき間の差が5mmより大きい場合は、昇降プレートとアームレストフレームの左右どちらかの差込位置を1段ずらし水平になるように調整してください。ただし、車いす対応便器にセットした場合で⑥に差した場合は差込位置の変更は不要です。

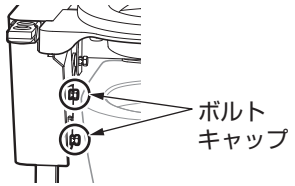


正面から見た図

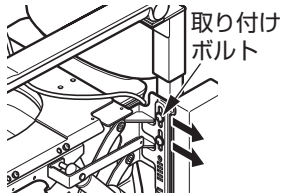


8 ボルトキャップと便器の干渉の確認

トイレリフトを上下に昇降させて、ボルトキャップと便器が干渉しないか確認する(左右共)。



干渉がある場合、昇降ユニットの取り付けボルトをゆるめて、取り付け部を外側寄りにして、ボルトを締め付けてください。



9 リモコンスイッチおよびケーブル類の取り付け

リモコンホルダーはお客様のお好みにあわせて、「壁への取り付け」あるいは「トイレリフト本体への取り付け」をお選びください。

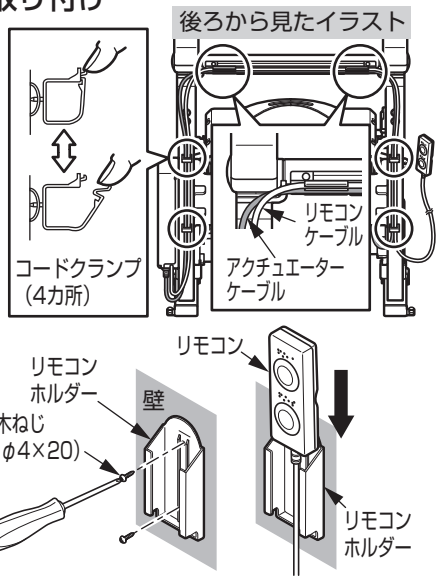
≪壁への取り付けの場合≫

ご使用者の方にトイレリフトにお座りいただき、昇降させて使いやすい位置に取り付けてください。(リモコンスイッチのコードは3mです。)

①製品に向かって左側（座った状態で右手側）の壁に取り付ける場合、アクチュエーターとリモコンのケーブルをアームレストフレームのコードクランプ、コードカバーに配線します。

②リモコンホルダーを取り付けます。ホルダー取付木ねじを使い、取り付けてください。
- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイル壁の場合は、市販のアンカープラグを使って取り付けてください。

③リモコンホルダーにリモコンを差し込みます。



≪トイレリフト本体への取り付けの場合≫ 左右どちらでも取り付けできます。

①製品に向かって左側（座った状態で右手側）に取り付ける場合、アクチュエーターとリモコンのケーブルをアームレストフレームのコードクランプ、コードカバーに配線します。

※《壁への取り付けの場合》を参照ください。

②リモコンプレートを付属の六角穴付きボルトでしっかりと固定します。(推奨締付トルク3N・m)

＜締め付けの目安＞

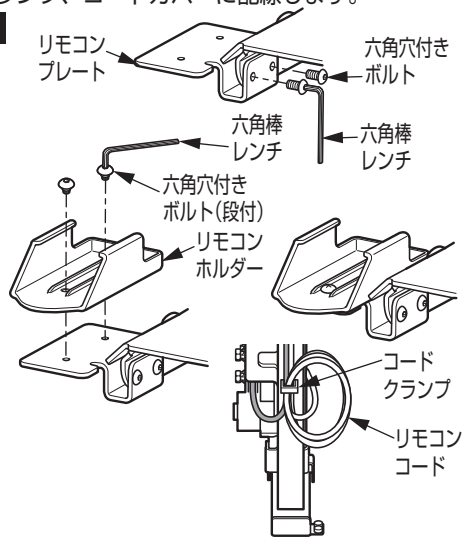
六角棒レンチの短い方を持って回し、ボルトが突き当たったところより、さらに1/4回転程度締めこんでください。

③リモコンプレートにリモコンホルダーを付属の六角穴付きボルト（段付）でしっかりと固定します。(推奨締付トルク3N・m)

＜締め付けの目安＞

六角棒レンチの短い方を持って回し、ボルトが突き当たったところより、六角棒レンチの長い方に持ち替えてさらに1/4回転程度締めこんでください。

④リモコンホルダーにリモコンを差し込みます。コードが長くて余る場合は巻いて脚のコードクランプに固定してください。

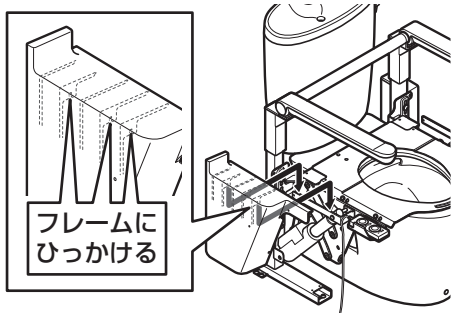


9 カバーの取り付け

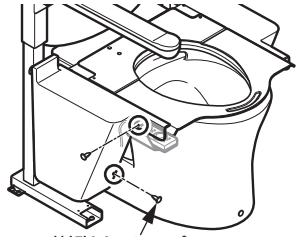
1 本体カバーの取り付け

昇降経路切り替え（垂直⇔斜め）を行う場合は、カバーを外した状態で行いますので、カバーの取り付け前に「11-1 調整と試運転」2 昇降経路切り替えをご確認ください。

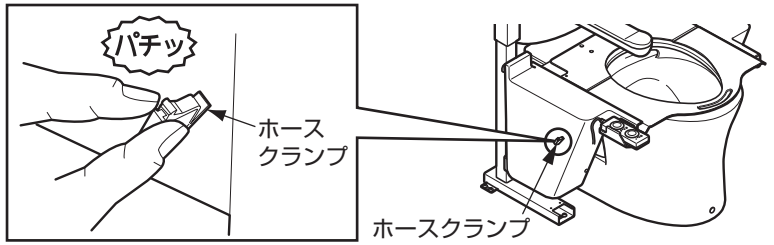
①本体カバーの切り欠き部が、昇降ユニットのフレームに嵌まるように、本体カバーをフレームにのせます。



②同梱の樹脂クリップで2か所固定する。
反対側のカバーも同様に取り付けます。

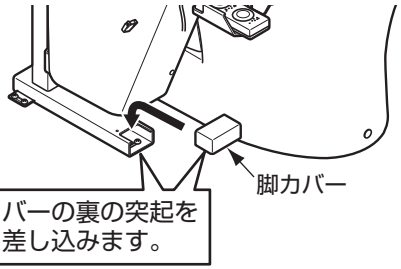


③ホースクランプを取り付けます。



2 脚カバーの取り付け

脚カバーを取り付けます。



10-1 便座・水はねガードの取り付け

1 便座の取り付け《普通便座の場合》

①ねじ（M6×20）を使用し便座をトイレリフトの昇降プレートに固定してください。

②キャップを取り付けてください。

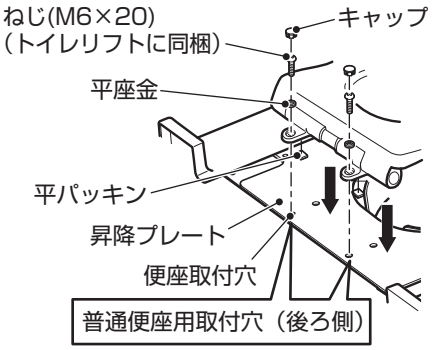
⚠ 警　告

必ず実行

普通便座のキャップは必ず取り付ける

ねじがゆるんだ際、ねじが抜け落ち便座が外れてけがをする原因になります。

普通便座は、便ふたなし仕様をご用意ください。



※レギュラーサイズ（普通サイズ）の便座の場合は、前側の取付穴に固定してください。

2 便座の取り付け《ウォシュレットの場合》

必ずトイレリフトに同梱の専用の便座ベースプレート取付ねじを使用してください。
便ふたはご使用できませんのであらかじめ取り外してください。
横荷重が便座に加わる場合は、便座が外れて転倒するおそれがあるため、外れ防止のため金属製ベースプレート品をご使用ください。

⚠ 警　告

禁　止

取り付け可能なTOTO製の便座以外はセットしない

しっかりと固定できずにガタツキが発生し、転倒してけがをする原因になります。

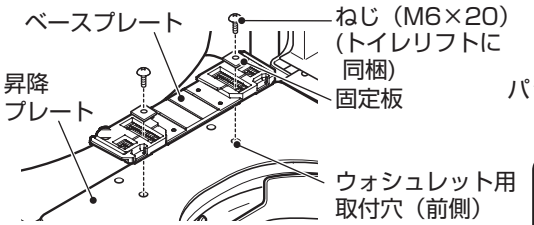
便座によってベースプレートの取り付けは **A**「固定板タイプ」 **B**「平座金、歯付き座金タイプ」の2種類があります。

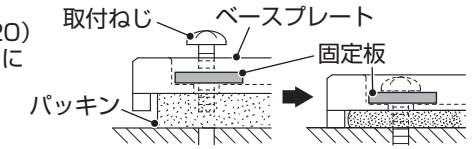
A　固定板タイプの取り付け

便座を交換する場合

ベースプレートを昇降プレートに取り付ける。

ねじ(M6×20)、固定板を使用し昇降プレートに取り付けてください。



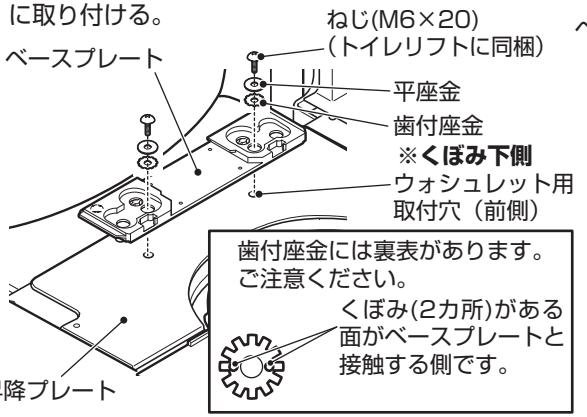


ポイント

パッキンがつぶれて、ベースプレートが昇降プレートに当たるまで締め付けてください。

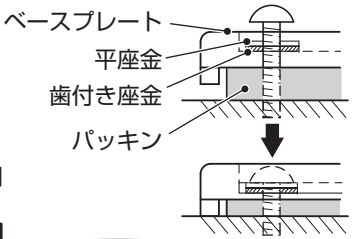
B　平座金、歯付き座金タイプの取り付け

ベースプレートを、同梱のねじ(M6×20)、歯付き座金、平座金を使用し昇降プレートに取り付ける。



歯付座金には裏表があります。ご注意ください。

くぼみ(2カ所)がある面がベースプレートと接触する側です。

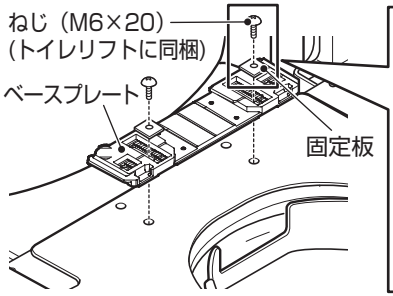


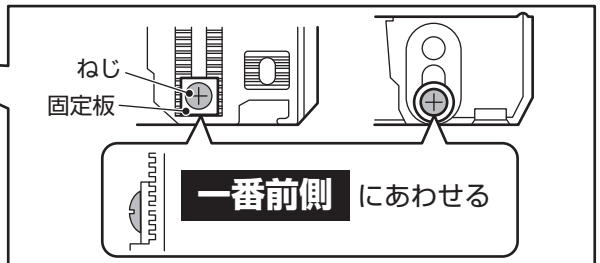
ポイント

パッキンがつぶれて、ベースプレートが昇降プレートに当たるまで締め付けてください。

3 ベースプレートの位置調整

TCF41*1以外の場合





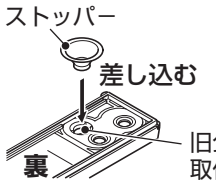
ベースプレートの形状はウォシュレットのタイプによって異なります。

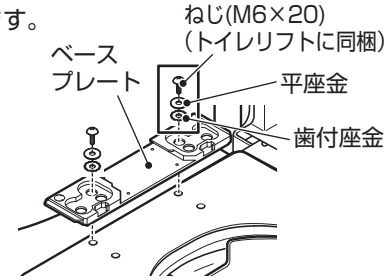
TCF41*1の場合

ベースプレートのロータンク側の穴をねじで固定します。

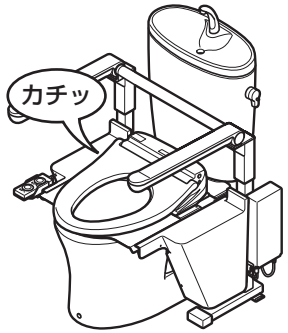
①ストッパーを外し、ノックアウトを取り外す。

②ストッパーを旧公団用の穴へ付け替える。





4 便座の取り付け



①ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込んでください。
②便座を手前に引っ張ってみて便座がベースプレートから外れないことを確認してください。
③便座の取り付け、取り外しを2、3回繰り返して、便座の取り付け、取り外しが問題ないことを確認してください。
※便器洗浄ユニット付きのウォシュレットの場合は便器洗浄ユニットのコードのプラグも接続してください。

⚠ 警　告

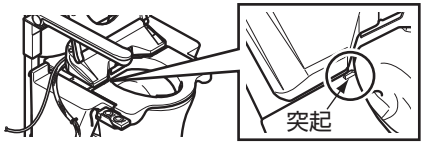
必ず実行

ウォシュレットを取り付ける場合は、ベースプレートにカチッと音がするまでウォシュレットを奥まで差し込む
便座が外れてけがをする原因になります。

5 水はねガードの取り付け

①水はねガードを載せます。

②水はねガード後方の突起が、ウォシュレット機能部の前に見えていることを確認してください。
水はねガードの突起が、ウォシュレット機能部の下にもぐりこんでいる場合は、ウォシュレットの取り付け位置を「10-1 便座の取り付け」を再度確認の上調整してください。



6 給水ホースの取り付け（ウォシュレットの場合）

ウォシュレットの場合は、引き続き給水ホースを取り付けます。
ウォシュレットの種類によって本体と給水ホースの接続方法が異なります。
ウォシュレットの説明書にてご確認願います。

⚠ 警　告

必ず実行

ウォシュレットへの給水は、必ずウォシュレット指定の給水ホースを使う
指定以外の給水ホースを使うと、商品の動作を妨げ、転倒してけがをする原因になります。

⚠ 注　意

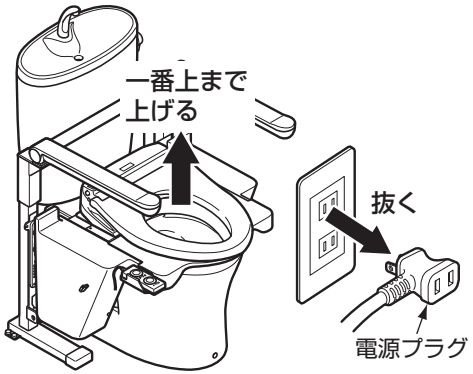
必ず実行

袋ナットを締め付ける際は、給水口に無理な力が加わらないように注意する
給水口が破損して水漏れする原因になります。

①給水ホースを固定します。

(1) 操作スイッチで昇降プレートを一番上まで上昇させ、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※これ以降の作業は必ずトイレリフトを一番上まで上昇させた状態で行ってください。

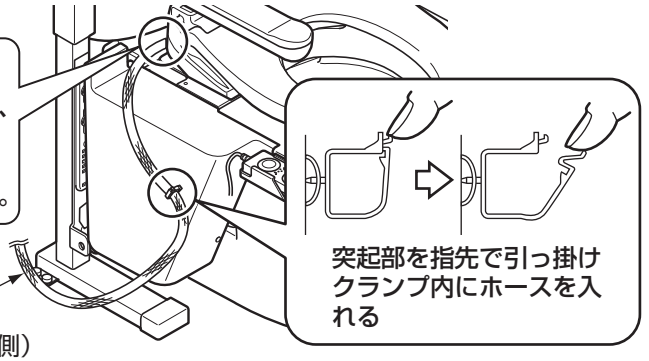
給水ホースはまだ分岐金具に接続しないでください。



(2) 給水ホースをクランプで固定します。

ポイント

電源コードと給水ホースが同じ側から出ている場合は、ウォシュレットの電源コードが給水ホースの上にくるように取り付けてください。



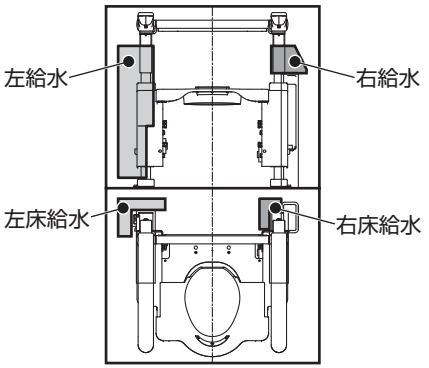
②給水ホースの接続（壁・床側）
取り付けるウォシュレットの施工説明書に従って給水ホースを壁や床の給水栓へ取り付けます。
給水取出位置によって給水ホースの取り回し方が異なります。次ページを参考に給水取出位置を確認して分岐金具の向き、給水ホースの取り回しを調整してください。

7 給水ホースの取り回し

●それぞれの給水取出位置によって以下のように分岐金具の向きと給水ホースの取り回しを調整ください。

■給水取り出し位置について
詳細な寸法については、「2 取り付け前の注意」を再度ご確認願います。

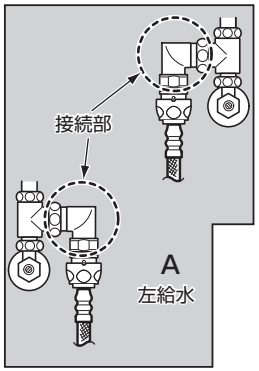
給水ホースが不足する場合は、適切な長さのホースをウォシュレットの施工説明書を参考に選んでご購入ください。



Aエリア(左壁給水の場合)

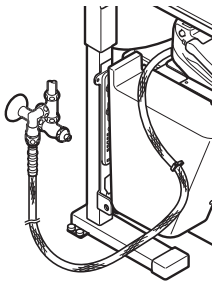
給水ホースの接続部が給水取り出し範囲中に入るように、給水ホースを接続する。

※左壁給水取り出し範囲



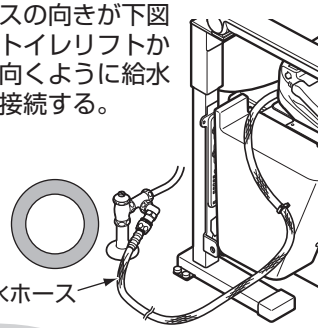
ポイント

給水ホースを接続した状態。
このとき給水ホースがねじれていたり、駆動装置の下に入り込んでいないか確認してください。



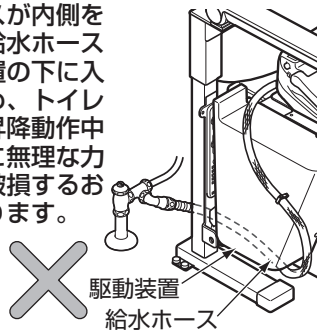
Bエリア(左床給水の場合)

給水ホースの向きが下図のようにトイレリフトから外側に向くように給水ホースを接続する。



ポイント

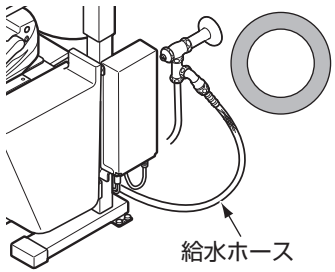
給水ホースが内側を向くと、給水ホースが駆動装置の下に入り込むため、トイレリフトが昇降動作中にホースに無理な力が発生し破損するおそれがあります。



Cエリア(右壁給水・右床給水の場合)

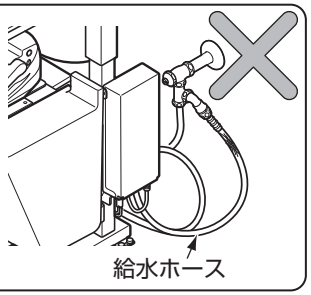
給水ホースの長さが不足しますので約2mのホースを別途ご用意ください。

①給水ホースを接続する。

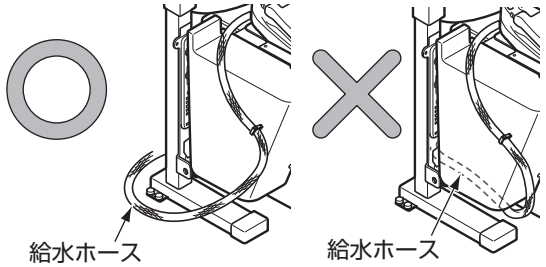


ポイント

このとき図のように給水ホースを巻かないようにしてください。
トイレリフトが昇降動作中にホースに無理な力が発生し破損するおそれがあります。



②給水ホースを接続したあと、トイレリフトの左側の給水ホースの状態を確認する。
下図のようにトイレリフトが一番上まで上昇している位置で、駆動装置と給水ホースとの間に十分な余裕がとれるように給水ホースの取り回しを調整する。

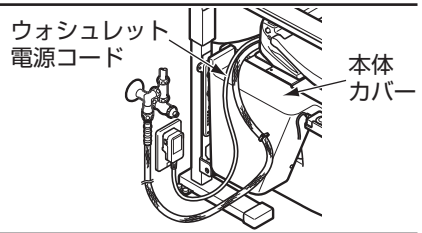


ポイント

給水ホースが駆動装置の下に入り込まないように注意する。トイレリフトが昇降動作中にホースに無理な力が発生し破損するおそれがあります。

8 ウォシュレット電源コードの取り回し

ウォシュレットの電源コードはコンセントのある側の本体カバーの上に載せてコンセントまで取り回す。



9 ウォシュレットの設定変更

ウォシュレットの「便器きれい機能」、「プレミスト機能」の設定を「切」に設定変更してください。
(「便器きれい機能」「プレミスト機能」を使用すると床などがミストでぬれる原因になります。)

10 動作の確認

給水ホースを接続後、トイレリフトを昇降させて給水ホースに無理な力がかかったり、引っ張られたり、挟まれたりしないか確認する。
電源コードがトイレリフトに挟まれたり、無理な力がかかっていないか確認する。
※給水ホースの長さが足りないときは、設置するウォシュレットの施工説明書を参考にホースを選んでご購入いただき、ホースを交換してください。

⚠ 警　告

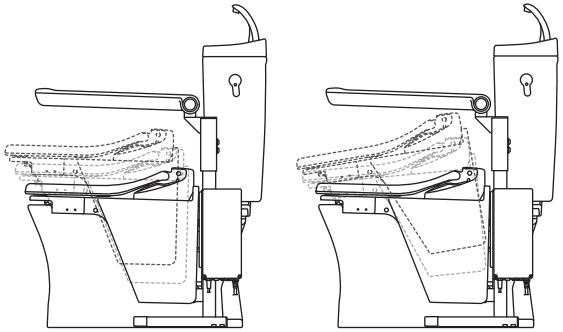
禁　止	ウォシュレットや本商品の電源コードはトイレリフト本体に巻き付けたり引っ掛けたりしない 便座の動きによってプラグやコードが傷み、火災や感電の原因になります。	必ず実行	ウォシュレットなどの便座を取り付けた際は、トイレリフトを昇降させ、便座の給水ホースや電源コードに無理な力がかかっていないことを確認する 便座の動きによって給水ホースやプラグが傷み、水漏れ、火災、感電の原因になります。

11-1 調整と試運転

1 調整機能

トイレリフトには、お客様の身体状況にあわせて次の調整が可能です。

①昇降経路切替
出荷時は「垂直昇降」ですが、「斜め昇降」に切替可能です。



垂直昇降（出荷時）　斜め昇降

②昇降高さ切替
高さを高くしたいとご要望の場合は「高モード」に変更可能です。

2 昇降経路切り替え（垂直➡斜め）

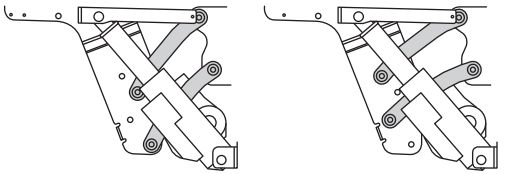
①本体カバーを取り外します。

＜本体カバーの外しかた＞

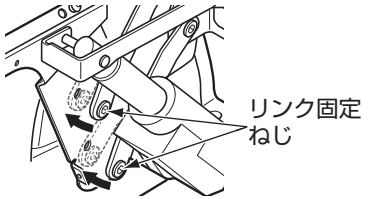
1. 水はねガードを外す。
2. ホースクランプからホースを外す。
3. 本体カバーの下部を引いて下側のカバー固定ピンを外す。
4. 上側のカバー固定ピンを外しながら本体カバーを取り外す。

②リンク固定ねじを組み替えます。

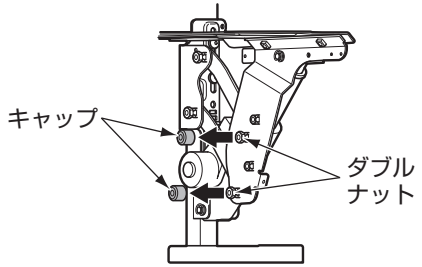
左右ともに同じ位置に組まれていることを確認してください。



垂直昇降（出荷時）　斜め昇降

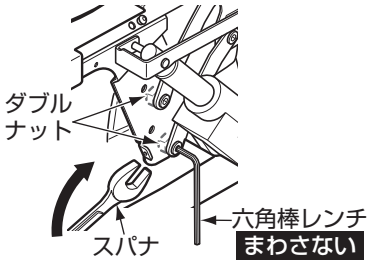


③内側のダブルナットに被せているキャップを取り外します。



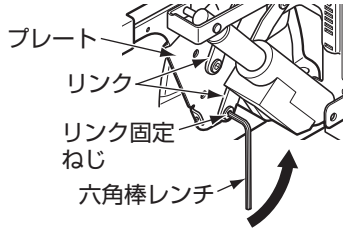
④リンク固定ねじ頭を六角棒レンチで抑えながら、内側のダブルナットを外す。

※ナットを先に取り外します。
※ナットを取り外す前に六角棒レンチを回しても外れません。



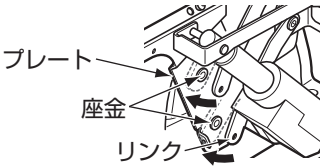
⑤リンク固定ねじを回して取り外す。

※リンクとプレートの間に座金があります。座金をなくさないように注意してください。



⑥固定穴を切り替える。

※座金も忘れずに位置を変更しリンクとプレートの間に置き、座金をリンク固定ねじが貫通するように取り付けてください。

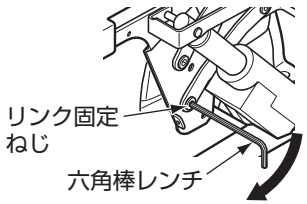


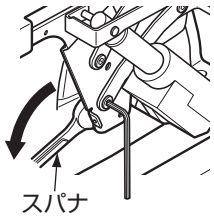
⑦リンク固定ねじを六角棒レンチの短い方を持って回し、ボルトが突き当たったところで止める。(推奨締付トルク3N・m)

⑧リンク固定ねじを六角棒レンチの長い方を持って保持し、内側のダブルナットをしっかりと固定します。(推奨締付トルク23N・m)

＜締め付けの目安＞

ナットを手で持って回し、ナットが突き当たったところよりモンキーレンチやスパナで1/6回転程度締めこんでください。





⚠ 警　告

必ず実行

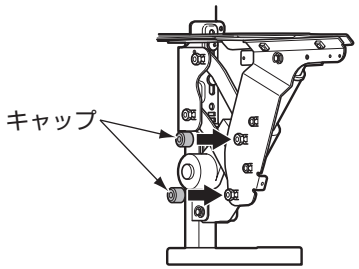
昇降経路や昇降高さの切替作業は、必ず施工業者の方が間違えないよう行う

作業を間違えたり不十分だと、座面が傾くなど意図しない動きをして、転倒してけがをする原因になります。

ボルト・ねじ・ナットで推奨の締め付けトルクでしっかりと商品を組み立てる

商品が外れてけがをする原因になります。

⑨内側のダブルナットにキャップを取り付けます。



3 昇降高さ（標準モード➡高モード）の切り替え

高さを高くしたいとご要望の場合は「標準モード」から「高モード」に変更可能です。

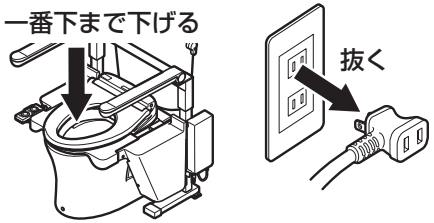
⚠ 注　意

禁　止

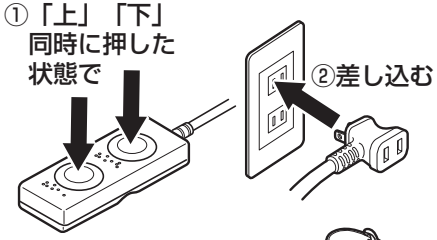
操作部が座面の横についているウォシュレットは、斜め昇降経路を選択した場合、高さ設定モードを「高モード」にしない

ウォシュレットの操作部がアームレストにぶつかり、商品が破損する原因になります。

①座面を一番下まで下げます。
②コンセントから電源プラグを抜きます。
③1分以上待ちます。



④リモコンスイッチの「上」「下」を同時に押した状態で電源プラグをコンセントに差し込みます。



⑤昇降ユニットが動き出すまで、リモコンスイッチの「上」「下」を同時に押しっぱなしにしておいてください。

⑥昇降ユニットが動き出したら、リモコンスイッチのボタンから手を離します。設定最大高さまで自動的に上昇します。

⚠ 警　告

禁　止

昇降高さ切替の際は、トイレリフトに近づかない

手や腕など身体の一部が挟まれ、けがをする原因になります。

必ず実行

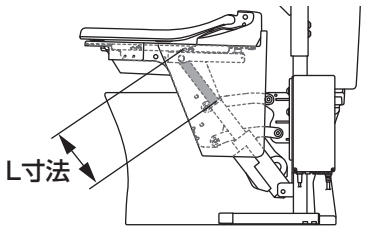
昇降経路や昇降高さの切替作業は、必ず施工業者の方が間違えないよう行う

作業を間違えたり不十分だと、座面が傾くなど意図しない動きをして、転倒してけがをする原因になります。

⑦切り替わったことの確認は、次のようにして確認してください。
（カバーを取り外してご確認ください。）

モード	L寸法（mm）
標準モード	約180
高モード	約205

（標準モードに戻す場合も同じです。）



4 試運転

①コンセントに電源プラグを差し込みます。
②リモコンを操作し、上昇・下降させます。
③「12 点検項目」に従い、点検実施してください。

⚠ 警　告

必ず実行

組み立て完了後、必ず試運転を行い、点検項目に従い点検実施する

商品が外れたり座面が傾くなど意図しない動きをして、転倒してけがをする原因になります。

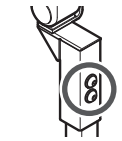
12 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

□ガタツキはありませんか？

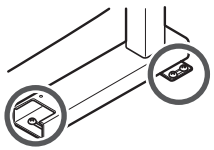
ガタツキがある場合は、次のねじがしっかりと締められているか、確認してください。

本体と脚の接続部

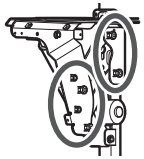


昇降ユニットと脚の接続部

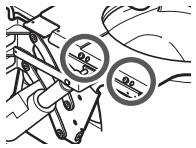
床固定部



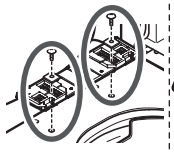
昇降経路切替部



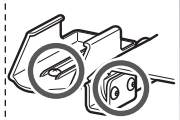
昇降プレート部



便座固定部



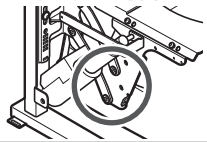
リモコン固定部



□昇降プレートは左右同じように動きますか？意図した動き（垂直昇降or斜め昇降）をしますか？

左右で動きが異なる場合や意図した動きをしない場合は、昇降経路切り替え部が左右同じく、正しい位置に固定されていますか？

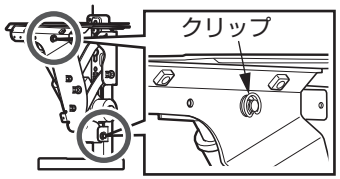
昇降経路切替部



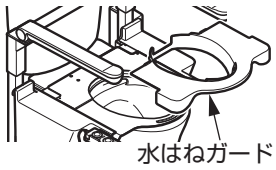
□アクチュエーターのピンを止めているクリップが外れていませんか？

外れている場合は、クリップを確実に差し込んでください。

アクチュエーターピン部



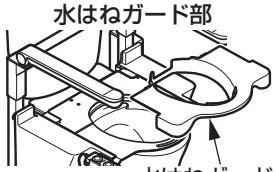
□水はねガードはセットされていますか？



□昇降時、水はねガードと便器の干渉はありませんか？

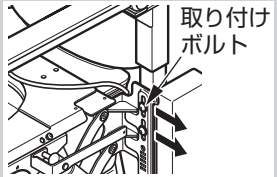
干渉がある場合は、昇降プレートの位置を前後調整してください。

水はねガード部



□昇降時、ボルトキャップと便器の干渉はありませんか？

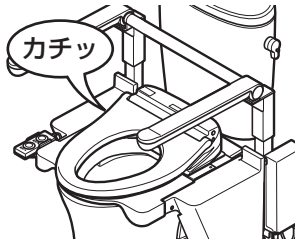
干渉がある場合、昇降ユニットの取り付けボルトをゆるめて外側寄りにして、ボルトを締め付けてください。



□ウォシュレットは確実に固定されていますか？

固定されていない場合は、「カチッ」というまで確実に固定してください。

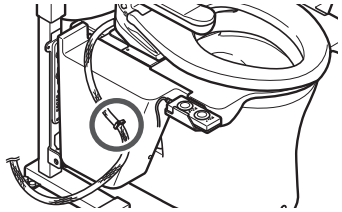
ウォシュレットワンタッチ着脱部



□昇降時、給水ホースのひっかかりや擦れ、水漏れはありませんか？

ひっかかりや擦れがある場合は、ホースクランプで固定するなど正しく取り回ししてください。
水漏れがある場合は、給水ホース接続部を正しく確実に締め付けてください。

給水ホース取り回し

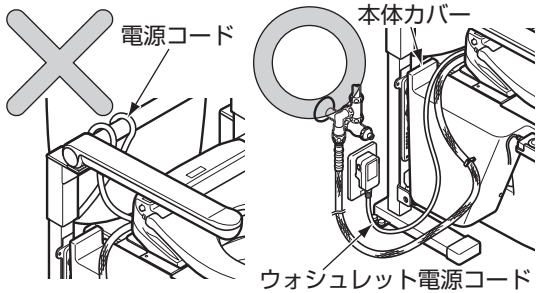


□昇降時、ウォシュレットの電源コードのひっかかりや擦れはありませんか？

□昇降時、ウォシュレットの電源コードの長さが足りず、電源プラグがコンセントから抜けかけていませんか？

□電源コードはトイレリフト本体に巻き付けたり引っ掛けたりしていませんか？

電源コードに無理が力が加わらないよう、昇降を一番高い位置まで上げた状態で本体カバーの上を通してください。



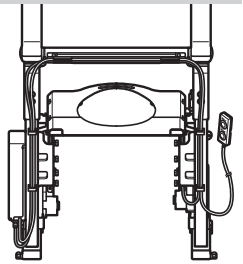
□昇降時、ケーブル類のひっかかりや擦れはありませんか？

□ご使用者の足にひっかかることはありませんか？

このような場合は、コードクランプで固定するなど正しく取り回してください。

ケーブル類の取り回し

後ろから見たイラスト



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。